

土地の所在 高松市弘生山町字岡下甲1885番4の一部、甲1999番1、甲1999番2、甲2000番1、甲2000番2、甲2000番3、甲2003番1、甲2003番2、甲2003番3及び地先農道・水路

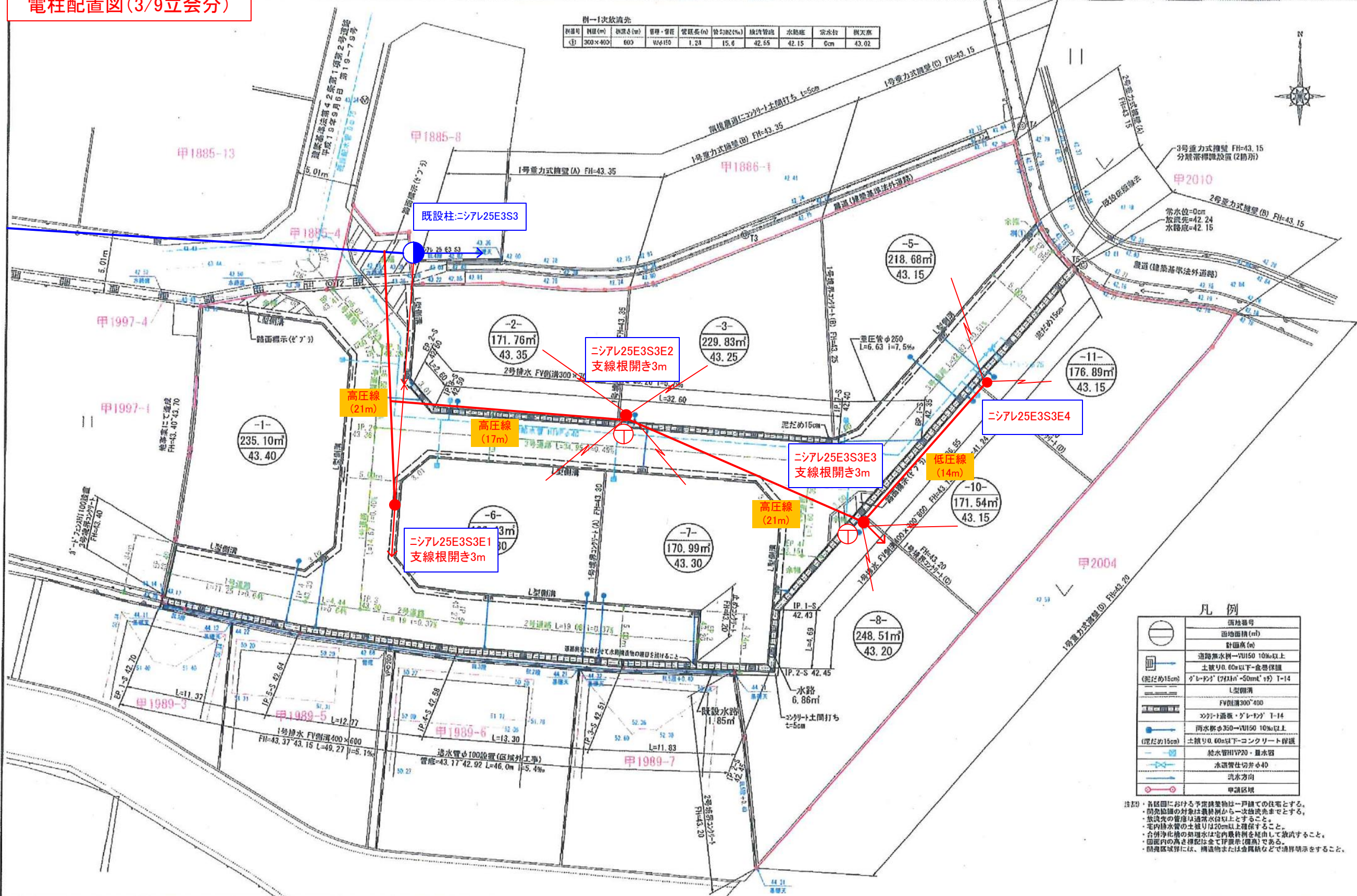
土地利用計画図

埋蔵文化財包蔵地外

電柱配置図(3/9立会分)

例-1次放流先

排水種	排水量(m³)	排水径(mm)	管種・管径	管長(m)	管径比(%)	放流管径	水頭高	常水位	排水高
①	300×400	600	UP110	1.28	15.4	42.65	42.15	6cm	43.02



開 発 許 可 日
年 月 日
第 1 号

申請者
株式会社ゆめハウス・プラス
代表取締役 増元 浩二

住所・氏名
製 者
高松市三条町式七八番地宅士
株式会社高松合同企画
土地家屋調査士・測量士 野田 明良

凡 例

○	所在地番号
○	地積面積(m²)
○	計画高(m)
○	道路排水溝-VU150 10%以上 土盛り0.60m以下-食器保護 グレーチング(材質H=50mm) T-14
○	L型側溝
○	FV側溝300×400
○	2列1溝掘・グレーチング T-14
○	雨水管径350-VU150 10%以上
○	土盛り0.60m以下-コンクリート保護
○	給水管HVP20・黒水器
○	水道管仕切弁φ40
○	排水方向
○	申請区域

注記・各図面における平常積雪量は一戸建ての住宅とする。
・開発申請の対象は最終計画から一次放流先までとする。
・放流先の管径は通常水径以上とする。
・宅内排水管の土盛りは20cm以上確保すること。
・合併浄化槽の処理水は宅内最終排水量を基準として排水すること。
・図面内の高さ標記は全て伊表(標高)である。
・開発区域外には、構造物または金網などで境界明示すること。

縮 尺 1 : 3 0 0

縮尺1/300